

化薬セグメント

化薬事業

防衛・宇宙など、国策に基づく事業を展開し、
環境に配慮した設備導入や製品づくりに注力します。

事業の強み

- 宇宙・防衛関連製品は継続的なニーズ
- 宇宙ロケットの固体推進薬は国内随一の技術
- エネルギー制御技術を多様な民生品に展開

常務執行役員
化薬事業部長
鳴海 一仁



当社グループの化薬事業は、産業用爆薬分野、防衛分野、宇宙分野と大きく3つの領域で火薬類を提供しており、これらの多くは国の政策に基づく事業展開を行っています。産業用爆薬類は、採石やトンネルの掘削などを主な目的として、土木工事で利用されます。防衛関連製品は、地政学的リスクに対峙するため、たとえば自衛隊の火砲や誘導弾など、我が国の防衛装備品需要に応えるものです。宇宙関連製品では、いまや国民生活に不可欠となった人工衛星の打ち上げなどに必要とされる、

宇宙ロケット用固体推進薬のニーズに対して、国内トップメーカーとして応える使命があります。これらの製品の安定供給を確保しつつ、需要の増加に対応するために効率的な生産体制を整えていますが、より一層の生産性向上を進めています。

また、CO₂排出量の抑制など、環境に配慮した設備の導入を進めてきました。今後もサステナビリティの向上を目指し、さらにCO₂排出量を低減する火薬組成の研究を進めるとともに、鉛を使わない環境配慮型火薬

への代替、環境負荷の少ない小型ロケット用の固体推進薬の開発などを加速しています。

化薬事業の生産工場は、保安上の理由から広い敷地を有しているため、場内には多様な植物が自生しています。これらの生物を適切に管理することで、気候変動や生物多様性に貢献していきます。

化薬セグメント

主な製品と用途

- **産業用爆薬類**
(採石場、トンネルなどに)
含水爆薬、ANFO爆薬、電気雷管
- **宇宙関連製品**
固体推進薬、ロケット用火工品
- **防衛関連製品**
発射薬・推進薬、各種火工品、防衛装備品
- **機能製品(民生品)**
サーモラベル®(示温材)、UVラベル®、滅菌資材、凍結防止剤、
ネットランチャー®(防犯機器)、非火薬破砕剤(ガンサイザー®)



社会課題への貢献

中長期的な視点を持ち、 宇宙・防衛関連製品に注力



日油グループは、JAXA(宇宙航空研究開発機構)を起点とする宇宙事業を長く支援してきました。衛星からの情報は、通信の進化や自動運転の事業化など、今後ますます国内外の産業で必要になると予測できます。一方、精度の高いロケットの打ち上げは容易でなく、常に技術革新が求められます。宇宙や防衛の関連事業は国策として不可欠なもの。安定収益を得ながら、今後も社会貢献に力を注ぎます。

路面の凍結を防ぎ、交通安全に寄与 液状凍結防止剤の自動散布装置



冬場の凍結した雪氷路面を自動車が走行すると、タイヤがスリップして交通事故が発生する危険があります。競合品の凍結防止剤は塩化物系が主流ですが、日本工機㈱が販売する塩素を含まない凍結防止剤「カマグ®」は、金属・コンクリートなどの構造物や自然環境への塩害を発生させません。また、自動散布装置「オートカマグ®」はソーラーパネルを備えた、無電源で稼働できるタイプもあり、省エネルギーに貢献します。